

2016(平成28)年度 社会福祉法人 八葉会 事業報告書

2017(平成29)年5月22日 作成

1 保育所の運営

(1) 基本理念及び行動指針

①基本理念 **智恵を未来へ** (智恵でつながる 笑顔の輪)

②ショルダーフレーズ **未来 はばたくこの子を 今日もって一緒に歩く**

③行動指針 **元気に挨拶 明るい笑顔 周りをよくみて 進んで行動**

(2) 定員 大門 130名 今津 140名 赤坂 80名

(3) 年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

大門

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
乳児	4	5	5	5	7	8	13	15	17	17	19	20	135
1～2歳児	37	36	36	36	38	38	39	39	39	41	42	42	463
3歳児	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	354
4～5歳児	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	648
計	125	125	125	125	129	130	135	137	139	141	144	145	1,600

今津

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
乳児	4	7	11	15	17	19	19	21	21	23	24	25	206
1～2歳児	46	46	46	46	45	44	47	48	49	49	50	50	566
3歳児	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	26	296
4～5歳児	44	44	44	45	45	45	45	45	46	45	45	45	538
計	118	121	125	130	131	133	136	139	141	142	144	146	1,606

赤坂

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
乳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～2歳児	14	15	15	20	21	21	24	29	28	30	30	30	277
3歳児	14	14	14	14	14	14	14	15	14	15	15	15	172
4～5歳児	35	36	36	36	36	36	36	36	36	37	37	37	434
計	63	65	65	70	71	71	74	80	78	82	82	82	883

(4) 職員数(各月初日現在) ※産休・育休を除く
大門

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
所長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
正職員	18	19	19	19	17	17	17	17	17	17	17	17	211
臨時職員	15	14	14	15	15	15	15	15	15	14	14	14	175
派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	34	34	34	35	33	33	33	33	33	32	32	32	398

今津

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
所長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
正職員	16	15	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	166
臨時職員	14	18	18	18	19	18	19	20	20	21	21	21	227
派遣	1	1	1	1	1	1	2	3	2	2	2	3	20
計	32	35	34	34	35	34	36	37	36	37	37	38	425

赤坂

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数合計
所長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
正職員	10	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	127
臨時職員	8	6	7	8	8	8	7	7	7	8	8	8	90
派遣	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	19	18	19	19	19	19	18	19	18	19	19	19	225

(5) 職員の異動

	採用	退職	異動	産休・育休
大門	当初:新規採用 3名 臨時職員 2名 派遣職員 0名 中途:臨時職員 1名 派遣職員 0名	中途:臨時職員 0名 期末:臨時職員 0名	当初:今津へ1名 赤坂へ4名 中途:今津へ2名 赤坂へ1名	当初:正1名 中途:臨時職員1名 4月14日～
今津	当初:新規採用 5名 臨時職員 派遣職員 1名 中途:臨時職員 4名 派遣職員 3名	中途:正規職員 2名 臨時職員 1名 期末:正規職員 1名 :臨時職員 1名 :派遣 4名	当初:大門から1名 赤坂へ10名 中途:赤坂から1名 赤坂へ1名 大門から2名 花園へ1名	当初: 中途:臨時職員 6月16日～
赤坂	当初:新規採用 3名 臨時職員 2名 派遣職員 1名 中途:臨時職員 3名 派遣職員 0名	中途:正規職員 1名 臨時職員 2名 期末:	当初:今津から10名 大門から4名 中途:今津へ1名 今津から1名 大門から2名	当初: 中途:

(6) 職員会議の開催状況
①職員会議

大 門	<p>毎週火曜日に開催。園の理念の復唱を冒頭に行い、職員の意識統一を図った。 各担当者からの提案や報告、行事等の打ち合わせ・反省、各種会議からの報告、研修報告等を行い、職員間への情報の連携を図った。保育に支障のない範囲で全職員参加し、申送りを含め2部構成で行う。 司会と記録は、全職員で輪番制として行った。会議欠席職員へは、会議録閲覧を行い、全職員の認識の統一に努めた。</p>
今 津	<p>毎週水曜日に開催。理念の復唱を冒頭に行い、職員の意識統一を図った。 会議では、研修報告、各クラスの様子や課題、年齢別の保育の計画と反省、行事の打ち合わせ及び反省を話し合い、子どもへのかかわりや保護者対応について認識の統一を図った。 保育に支障のない範囲で全職員参加し、申送りを含め2部構成で行った。 司会と記録は、全職員で輪番制として行った。欠席職員へは、会議録閲覧を行い、全職員の認識の統一に努めた。</p>
赤 坂	<p>毎週木曜日に開催。園の理念の復唱を冒頭に行い、職員の意識統一を図った。 研修報告や各行事の打ち合わせなどを行い、職員間への情報の連携を図った。保育に支障のない範囲で全職員参加し、申送りを含め2部構成で行う。 司会と記録は、全職員で輪番制として行った。会議欠席職員へは、会議録閲覧を行い、全職員の認識の統一に努めた。</p>

②保育(主担)会議

大 門	<p>毎週水曜日に開催。 クラスの担任(主担)で編成し、各クラスの様子を報告し合い、保育内容の反省・確認を行った。 気になる子の課題や保育エピソードなども取り上げ、保育にかかわる様々な問題を共有・意見交換をした。また、年間保育計画に基づき月間保育計画の評価を行い、各クラスの連合を見直しを図り、各年齢を通して保育の一貫性の保持に努めた。園の行事についても昨年度の反省をもとに提案して計画をしていった。特に気を付けなければいけない項目は、職員会議にて周知していき、参加しない職員へは会議録閲覧を実施し内容を共有した。</p>
今 津	<p>必要な時に、不定期に開催した。 各クラスの担任(主担)で編成した。 園内の行事がスムーズに行えるよう、昨年度の反省をもとに担当職員が計画を基に打ち合わせを行った。 年間保育計画に対しての連合・月間保育計画の評価をして、保育内容の向上に努めた。 また日常保育について、丁寧な保育が行えるよう様々な角度からの意見交換を行い、問題の共有を図り、保育力の向上に努めた。 会議に参加していない職員へは、特に気を付けなければいけない項目等を職員会議にて報告をし、内容を共有をした。</p>
赤 坂	<p>前半は、毎週火曜日に開催した。 各クラスの主担で編成し、各クラスの週のねらい、反省、様子を報告し合い、気になる子の課題をあげ、保育にかかわる様々な問題を共有・意見交換し、保育に携わっていく。 年間保育計画に基づき月間保育計画の評価を行い、反省をし次年度につながるように話し合った。 また、行事については、初めてのことが多く、内容を話合った。職員会議で会議の内容について報告し、参加していない職員には会議録を閲覧して内容を共有した。</p>

②給食会議

大門	<p>月ごとに、年12回行った。 各クラスの職員と調理員全員が参画し、離乳食・給食・食育についての内容を提案し討議した。 食品納入業者との会議も年2回実施した。参加しない職員へは、会議録閲覧を行い、情報の共有に努めた。</p>
今津	<p>年4回行った。調理員全員とクラスの担任で、クッキングの打ち合わせ・バイキング・離乳食・アレルギーの対応等について意見交換を行った。 納入業者との情報交換を行い、保育所からの要望も伝えた。参加しない職員へは、会議録閲覧を行い、情報の共有に努めた。 職員の移動、中途職員の採用でなかなか会議ができなかった。</p>
赤坂	<p>年2回行った。 各クラスの職員と調理員全員が参加し、おやつ・給食・食育についての内容を提案し討議した。 食品納入業者との会議も年1回実施した。参加しない職員へは、会議録閲覧を行い、情報の共有に努めた。</p>

(7) 施設の状況

大門	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルーム入口折れ戸修理を行った。 ・園庭ロープの張替を行った。 ・乳幼児保育室内の柵の補強をした。 ・2歳児保育室床の修繕工事を行い、剥がれや傷を無くしワックスをかけた。 ・認定子ども園移行のため、看板の改修工事を行った。
今津	<ul style="list-style-type: none"> ・正門から玄関にかけてのフェンス側にリブロックでの囲いをし、花壇を作りお花を植えた。 ・乳児棟、子育て支援棟が出来、部屋の環境構成などを考えていった。 特に、乳児棟への保護者の送迎の仕方、こども早朝・延長などの部屋移動には、職員の連携 をとり進めていった。 子育て支援事業では、秋から公民館の耐震工事にかかり、リトミックでは園の遊戯室で行った。
赤坂	<ul style="list-style-type: none"> ・公立から譲渡された平屋建ての建物を壊し、0歳児室や子育て支援室を備えた2階建ての新園舎を建設した。 ・総合遊具、下駄箱、ロッカー、机やいすなどは、買い直す事もなく、既存のものを使用している。

3 給食の実施状況

(1) 乳児

大門	家庭と保育所で連携をとって、個々の発達状態に合わせて離乳食を進めていった。初期(ドロドロ・ペースト状)、中期(みじん切りまたはサイコロ状・味付け無し)、後期・完了期(スティック野菜付・薄味)、普通食(刻み食)の離乳食を提供した。タンパク質の食材は主に絹豆腐、タイ、鶏ささみミンチ、しらすを使用した。
今津	一人ひとりの発達に応じて、家庭・保育者と相談しながら離乳食を進めていった。家庭からの情報をもとに食事チェック表を作成し、食材に十分気をつけながら提供していった。中途から入所した子どもに対しても細やかな連携・配慮を行った。
赤坂	0歳児クラスなし

(2) 幼児食

大門・今津・赤坂	
1・2歳児は完全給食、3歳以上児は副食のみを提供した。1.2歳児は個々の発達状態にあわせ、肉や野菜の大きいものは、小さめに切ったり、果物は皮をむいたり、一口で食べれるおにぎりにして提供した。	

(3) 体調がよくないときの対応

大門・今津・赤坂	
体調が悪い時の子に対しては、個々の体調に合わせた対応をしていった。主に嘔吐下痢の子には油を抜いた消化の良いお粥や雑炊に変更した。口の中の病気や怪我の時は薄味にするなどの配慮をして出した。	

(4) アレルギー食への対応

全体	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から提出された医師のアレルギー指示書を元にアレルギーリストを作成し、アレルギー食材の替わりになる食材を購入し対応した。 ・当日の給食のアレルギーの有無に関わらず、毎回個々のトレーを使用し、判別しやすいようにした。 ・アレルギー食がある際は何を除去しているかを書いた紙を個々の食器に貼り、提供する際に職員とアレルギーの内容を確認し合った。おかわりにも、アレルギーの有無の表示もして対応をした。 ・分かりやすいようにお皿やコップは普通食の子と違うタイプのもを出した。 ・クラスの食数を伝える時も、用紙で表記して給食室でも再確認ができるようにした。 ・食事を運ぶ職員やクラスの職員にも同じようにアレルギーや代替えの有無を伝え連携を慎重に行った。
大門	特に除去の種類が多い幼児に対しては、献立表を見て調理員と保育士で確認し、給食の際も幼児と保育士が一对一で対応した。その際も給食内全員で確認してから提供する。毎朝、給食・おやつで使用する食材一つ一つを給食室全員で確認し、アレルギー食を作る前、提供する前も全員で確認した。
今津	また、8月の中旬頃からは給食とごはんだけでなく、果物もトレーに用意するようになった。提供する際には職員とアレルギーの内容を確認し合った。おかわりにも、アレルギーの有無の表示をして対応した。保育室に運んだ時の一時置き場もテープで囲むなど、提供間違いのないように工夫していった。
赤坂	給食室内でアレルギーのボードを作成し、9時・11時・15時にアレルギーの有無とアレルギーの食材を記入し、全員が一目で解る工夫をしました。給食従事者間でアレルギーの有無や代替りの材料など声に出して伝えて、全員が把握できる体制を行った。

(5) おやつ

大門	<p>3歳児未満は、10時・15時におやつを実施。 3歳児以上は、15時におやつを実施。 スキムミルク又は牛乳と一緒におやつを提供するが、メニューによってはお茶を出す日もあった。 一ヶ月に一回の誕生日会にはジュースを提供した。 15時のおやつは毎日手作りおやつを実施した。土曜日は一部のみ手作りおやつを実施した。 延長保育児を対象に18時以降に市販菓子、または手作りおやつを実施した。</p>
今津	<p>3歳未満児は、9時半・15時の2回、3歳以上児は15時の1回手作りおやつを実施。 スキムミルク・又は牛乳と一緒に提供するが、メニューによってはお茶を出す日もあった。 一ヶ月に一回の誕生日会にはジュースを提供した。 土曜日の午後は市販のお菓子を提供することもあるが、基本的には手作りおやつを出している。飲み物はお茶で対応した。 延長保育では、18時以降の利用者に市販のお菓子や手作りおやつを実施。</p>
赤坂	<p>3歳児未満は、9時30分・15時におやつを実施。 3歳児以上は、15時におやつを実施。 スキムミルク又は牛乳と一緒におやつを提供するが、メニューによってはお茶を出す日もあった。 月曜日～土曜日まで朝も15時も毎日手作りおやつを実施した。 延長保育児を対象に18時以降に市販菓子を提供した。</p>

(6) 食育

①食材調べ

大門	<p>11回実施 4・5歳児を対象に、三色表の説明を行った。 1歳児(年0回)・2歳児(年0回)・3歳児(年1回)・4歳児(年7回)・5歳児(年3回)、年齢に応じ食材調べを行った。七草など給食に入っている食材を調べることで、食の大切さを知り、給食を残さず食べようとする気持ちが芽生えてきた。</p>
今津	<p>3回実施。 食材調べでは子ども達に食材の感触や匂いを感じてもらい、食べ物に対して興味を持てるような話や声かけをした。クイズ形式など子どもたちが楽しんで参加できるように工夫した。 今年度も、魚を納品している業者の方に保育所へ来て頂き、子どもたちにブリの解体ショーを見せて頂いた。魚屋さんに普段聞けない質問がたくさん出来て、子どもたちも楽しんで参加している様子が見られた。</p>
赤坂	<p>3回実施 七草や給食に入っている食材を調べることで、食の大切さを知り、給食を残さず食べようとする気持ちが芽生えてきている感じが感じられた。大豆を題材にして箸遊びを行い、変身パネルを製作し説明を行い、実物の豆と豆乳を飲んだ。</p>

②クッキング

大 門	<p>0歳児・・・かしわもち、月見だんご、やきいも、もちつき 1歳児・・・かしわもち・月見だんご・やきいも・クリスマスのおやつ・もちつき・ふりかけ 2歳児・・・かしわもち・月見だんご・やきいも・クリスマスのおやつ・もちつき・ほうれんそうのごま和え 3歳児・・・かしわもち・月見だんご・やきいも・クリスマスのおやつ・もちつき・カ ナッペ・クッキー 4歳児・・・かしわもち・月見だんご・やきいも・クリスマスのおやつ・もちつき・いちごジャム・ナン・おにぎり 5歳児・・・かしわもち・月見だんご・やきいも・クリスマスのおやつ・もちつき・カレーピラフ・ホットケーキ ※クッキング活動を通して、自分たちで作る喜びをもつことができた。食に関心をもったり、食べることへの意欲につながっている。</p>
今 津	<p>0歳児・・・かしわ餅・カレー・お月見だんご・お餅つき 1歳児・・・かしわ餅・お月見だんご・お餅つき・ミックスジュース・ホットケーキ・夏野菜のみもみ漬け・カップケーキのトッピング 2歳児・・・かしわ餅・お月見だんご・お餅つき・ミックスジュース・ホットケーキ・夏野菜のみもみ漬け・カップケーキのトッピング 3歳児・・・かしわ餅・カレー・お月見だんご・カップケーキのトッピング・お餅つき・胡瓜の浅漬け・ラップおにぎり・ピザ 4歳児・・・かしわ餅・カレー・お月見だんご・カップケーキのトッピング・お餅つき・ラップおにぎり・ホットサンド 5歳児・・・かしわ餅・カレー・お月見だんご・カップケーキのトッピング・お餅つき・ラップおにぎり・カップ寿司</p> <p>作る楽しみを味わいながら、各年齢の発達に見合った用具の使い方も知らせた。(型抜き・ピーラー・包丁) 毎年2月～3月には親子でクッキング参観を行っているが、今年から3～5歳児のみ行なう事にした。</p>
赤 坂	<p>1歳児・・・お月見団子・茶巾絞り・クリスマストッピング・ラップおにぎり・お餅つき 2歳児・・・柏餅・お月見団子・茶巾絞り・ラップおにぎり・クリスマストッピング・お餅つき 3歳児・・・柏餅・お月見団子・芋もち・クリスマストッピング・お餅つき 4歳児・・・柏餅・お月見団子・ココアボール・クリスマストッピング・お餅つき 5歳児・・・柏餅 ジャコピーマン・お月見団子・スイートポテト・クリスマストッピング・お餅つき・クッキー</p> <p>クッキングの回数は十分とはいえないが、仮園舎の中子どもたちに少しでも実になる体験ができたように思う。月齢に合わせた過程のクッキングをクラスや異年齢で行った。各クラスでは秋にさつま芋を使って季節を感じ、作る楽しさ食べる喜びを味わうことが出来たように思う。</p>

③菜園活動

大 門	<p>0歳児・・・さつまいも 1歳児・・・さつまいも・かいわれ大根 2歳児・・・さつまいも・ほうれん草 3歳児・・・さつまいも・ミニトマト・いちご 4歳児・・・さつまいも・いちご・ピーマン・そら豆・人参 5歳児・・・さつまいも・スナップエンドウ・人参 ※上記の菜園活動の他に、保育所できゅうり・なす・大根・玉ねぎなど様々な野菜を育て、子ども達がしっかりと生長を観察し、実際に手にとって収穫することができた。収穫した野菜は給食に使用する事で喜んで食べる姿が見られた。</p>
今 津	<p>1歳児・・・ミニトマト・かいわれ大根 2歳児・・・ミニトマト・ピーマン・かいわれ大根 3歳児・・・きゅうり・スナップさやえんどう・二十日大根 4歳児・・・ミニトマト・トマト・小カブ 5歳児・・・ピーマン・カラーピーマン・ブロッコリー</p> <p>今年度は、1・2歳児もクラスの目の前のプランターで、夏野菜を育てた。花が咲いたり、実がなる様子を見たり、収穫するしたりすることで、様々なことに気づき喜ぶ姿がみられた。 小さい時からの、取り組みの積み重ねが子どもたち成長につながると感じる。</p>
赤 坂	<p>1歳児～5歳・・・苺・スナップエンドウ・空豆・玉葱・胡瓜・トマト・ピーマン・茄子・じゃが芋・さつまいも・ブロッコリー・大根・キャベツ</p> <p>※畑が目の前という恵まれた環境の下で幼い時から植物に触れ、収穫した物を食べることによって、子どもたちが自然と食材に興味をもち食べることにに対して喜びを感じることが出来る環境作りの大切さを感じる。</p>

④給食の手伝い

大門	<ul style="list-style-type: none"> ・スナップエンドウのすじとり・そら豆のさやとり・人参、玉ねぎの皮むきなど、2歳児以上の園児を対象に行った。 ・年齢に応じて自分でおかずの一部を盛り付ける活動を取り入れ、食に関する意欲を高めるようにした。(3歳児後半より) ・マナー(姿勢・箸の持ち方・トングの使い方など)についても年齢に応じた内容で子ども達に話をし、正しい食生活習慣が身に付くように心がけた。
今津	<p>1歳以上の園児を対象に行った。(きゅうり・トマト洗い、玉ねぎの皮むき、人参の皮むき、じゃがいもの皮むき)</p> <p>食材の下ごしらえを実際にすることで、食材に親しみを持ち、苦手なものも進んで食べることが出来た。みんなで楽しくお手伝い活動することで、料理作りに参加した充実感と、家庭での手伝いをしようと思う気持ちにつながったのではないかと思う。</p>
赤坂	<p>スナップエンドウのすじとりや、空豆のさやとりを行った。次々と実る為十分収穫を楽しみ、すじとりやさやとりも経験でき、「今日の給食の〇〇は〇組さんがしてくれたんだよ」と他のクラスから声が聞こえてきて、ほっこりとする場面もあった。食材の下ごしらえを实际することで、苦手なものも進んで食べようとする姿やお手伝い活動を楽しむ姿が見られた。家庭でのお手伝いにも繋がることに期待がもてる。</p>

⑤ランチバイキング

大門 ・ 今津	
3歳以上の園児を対象に月1回誕生会の日の給食で実施した。その日のメニューは選択献立とし、自分たちで料理を選びトングなどを用いて盛り付けを行った。	
赤坂	
今年度は仮園舎の為バイキングは行わなかったが、月に4回ご飯の要らない日(そのうち1度はお楽しみ献立)を実地し子供たちが少しでも楽しめる工夫に努めた。	

(8) 園内研修

大門 ・ 今津 ・ 赤坂	
保育、給食等3所間で行き来をして八葉会研修を行った。互いに保育内容を見合い、保育力の向上に努めた。	

4 健康管理の実施状況

(1) 園児 … 在所児全員に実施した。途中入所児も、入所のつど随時実施した。

大門 ・ 今津 ・ 赤坂	
内科	年2回(5月・10月)、嘱託医による健診を実施。 途中入所・当日欠席の子は、日程調整をして受診した。 異常が見られる子はいなかった。
歯科	年2回(5月・10月)、嘱託医による健診を実施。途中入所・当日欠席の子は、日程調整をして受診した。 う歯のある児童には治療券を配布し受診をお願いしたため、受診率も上がった。しかし、全員の受診とはならなかった。治療済みの結果は、福山市保健師に報告をした。
大門 ・ 今津 ・ 赤坂	
ぎょう虫 検査	年2回(4月・10月)検査を実施した。 未提出児・途中入所児も全員実施した。
尿 検査	年1回(5月)に実施した。 異常があった園児には、保護者へ結果表を配布し、再検査をお願いした。 全員受診出来た。再検査の結果は福山市保健師に報告した。
視力・ 聴力 検査	福山市の保健師による検査を実施した。 検査が出来にくかった園児には、保健師による再検査をしてもらった。病院での受診が必要な園児には、保護者へ結果表を配布し受診してもらおうようにし、受診結果は福山市の保健師に報告した。

(2) 職員

大門 ・ 今津 ・ 赤坂	
定期 健診	全職員(臨時職員を含む)に、健康診断を実施した。 診断の結果、良好だった。
検便 検査	赤痢菌、サルモネラ菌、腸チフス、パラチフス、O-157 の検査を実施した。所長・副所長・主任・副主任・乳児担当職員・延長担当職員、調理担当職員は毎月、その他の職員は年4回実施した。毎回異常はなかった。

(3) 保育に配慮が必要な子

大 門	<p>療育機関に並行通所の児童が16名、言葉の相談室の利用は10名であった。保護者への啓発や、療育機関及び言葉の相談室の紹介を行い、保護者と共に課題に向けて取り組んだ。また、関係諸機関との電話や来所などから、個に対しての配慮の仕方を聞き、共通の意識で保育に臨むように努力した。</p> <p>また、週に一回の保育会議では、気になる子の課題なども上げていき、保育にかかわる様々な問題を共有・意見交換し、保育に携わっていくようにしている。</p> <p>就学に向けて福山市教育委員会指導委員の方に来所してもらい保護者面談を行った。支援学級・通級学級への進学決定した。また、進学先の教諭などとの情報交換会を設け、進学がスムーズに行えるように配慮した。</p>
今 津	<p>療育機関に並行通所の児童が7名、言葉の相談室の利用は9名であった。言葉の相談室を利用している子が途中経過がよく、観察終了するという子もいた。</p> <p>保育の中では、絵カードを使ったりや1日の流をボードに書いて視覚から入れるようにしたり、見通しをもたせることや人との関係のところで丁寧な関わりを工夫してきた。</p> <p>並行通所している児童に対しては、療育の先生と連携をとらせてもらったり、カンファレンスに参加し、その子の支援の仕方について考えあててきた。ことばの相談室とも連携をとった。</p> <p>1歳半・3歳検診を受ける子の中で、気になる子について地域の保健師さんとの連携をとっていった。</p> <p>就学指導に向けての子に対しては、福山市教育委員会指導委員の方に来所してもらい保護者面談をおこない、支援学級への入学にきまった。</p>
赤 坂	<p>療育機関に並行通所の児童が6名。言葉の相談室の利用は4名であった。就学に向けては福山市教育委員会指導課の就学相談員さんに保育所に来所してもらい相談をした。</p> <p>保護者への啓発や、療育機関及び言葉の相談室の紹介を行い、保護者と共に課題に向けて取り組んだ。また、関係諸機関との電話や来所などで連携を図り個に対しての配慮の仕方を聞き、共通の意識で保育に臨むように努力した。</p> <p>また、週に一回の保育会議では、気になる子の課題なども上げていき、保育にかかわる様々な問題を共有・意見交換し、保育に携わっていくようにしている。</p>

5 非常災害防止等の実施状況

(1)

大門・今津・赤坂	
避 難 ・ 消 火 訓 練	<p>月1回さまざまな場所からの火災や地震等を想定し、消火・避難・通報訓練を実施した。消火訓練は別途実施をすることもあった。避難経路は3パターン用意し、状況に応じて対応できるよう訓練した。</p> <p>今津では、水害を想定しての避難訓練では、高台に上がる坂道が急であり避難車での移動は大変だが、震災を忘れないためにも実施した。また、年に一度の計画をしていきたい。</p>

(2)

大門・今津・赤坂	
防 犯 訓 練	<p>年に3回実施する。職員が不審者役になった。不審者の初期対応や、『黄色組で誕生会』(危険)「赤組で誕生会」(避難)という合言葉の使用、非常通報装置やさすまたの使い方の確認・実施をした。今津では、西警察署の方が犯人を装い訓練を行った。</p>

(3)

大門・今津・赤坂	
交 通 安 全 指 導	<p>月1回、年間計画にそって年齢に応じた交通訓練を実施した。</p> <p>年1回、生活安全推進課の指導員による交通安全教室を実施した。</p> <p>今津では、4月に備南自動車学校へ行って、DVDを見たり信号や横断の仕方などの指導を受けた。</p>

6 子育て支援の実施状況

大門保育所

(1) 給食体験

月に1回、給食試食希望親子対象に行った。予約制にしたことで、離乳食・アレルギー食にも前もって対応することができた。また、材料調達に無駄を省くことができた。給食中は保育士や調理員が保護者の食に対する相談にも応じた。

(2) 保育体験

給食体験と同じ日に実施した。参加した子どもの年齢のクラスに親子で入っていただき、保育所の子どもと一緒に歌を歌ったり、玩具や遊具で遊んだり、製作をしたりした。戸外あそびを行うこともでき、喜ばれていた。

(3) 育児相談

子育てサークルの時間内に子育ての相談を受けた場合、丁寧に対応した。

(4) 保育所行事参加

花祭り・かしわ餅作り・人形劇観劇・餅つき・とんどの行事に参加してもらった。

(5) おもちゃサロン

月1回子育てルームにて、大津野学区福祉を高める会主催で実施した。

今津保育所

(1) 年齢別サークル

各年齢別に、月1～2回程度実施。

発達に見合った玩具を提供したり、歌や絵本の読み聞かせなど親子の遊びの時間をもち、情報交換の場とした。

1月には保健師に来てもらい、生活習慣についてや食事のすすめ方について話をしてもらったり、利用者の相談に応じてもらった。2月にはエアロビ、ヨガの講師に来ていただき、保護者が身体を動かしてリフレッシュ出来る場を設けた。

(2) 全年齢サークル

季節の楽しい行事(夏祭り/運動会/クリスマス会など)や毎月の誕生会を実施した。

(3) 給食体験

月1回程度、予約制で親子10組限定で実施した。

保育所の給食を体験し、その都度持ち帰ってもらうレシピも喜ばれている。

(4) 保育体験

給食体験と同日開催で、同年齢の在所児と一緒に保育体験を実施した。

「保育所の様子や同年齢の子とわが子を比べて見れて良かった」との声も多く喜ばれた。

(5) クッキング

月1回程度、予約制で親子10組限定で実施した。

親子で楽しいおやつ作りを実施し、親子で試食した。

(6)おひさまサークル

ことば、コミュニケーションなどに課題のあると思われる子とその保護者ばかりでなく、日頃子育てに悩まれている方などを対象に実施した。
保護者の悩みを聞いたり、親子の関わりのヒントを知らせながら、少人数でゆったりと過ごす。地域の児童委員さんからの紹介で来られる日もあり一緒に参加される日もあった。

(7)ほっとタイム

保育所の手作りおやつと飲み物を出し、参加保護者が主体で情報交換や育児相談の『場の提供』を行った。手作りおやつの魅力である。昨年度の反省で、参加者が多く保育室が満員になることが多いという事だったので、今年度は各年齢で行い、落ち着ける環境で参加することができた。

(8)育児相談

保育所やサークル開設時間内や電話での対応をした。

(9)リトミック

外部講師によるリトミックを月2回公民館にて実施した。(公民館の耐震工事があり秋からは園で行った)人気が高く参加者が多いので、安全に出来るよう配慮していった。講師の先生が話をしているも保護者が雑談をしたり、子どもから目を離したりすることが多くなり保護者にその都度話をしていた。また、ワイヤレスマイクなども使用していった。

(10)ベビーマッサージ

今回から、外部講師によるベビーマッサージを取り入れた。10名の予約制でリラックスセッション
冬季から、次回の予約は月初めでなく、ベビーマッサージを受けた日から受けられるように変更になった。

(11)保育所行事参加

柏餅作り、夏祭り、人形劇、餅つきの4回の保育所行事に参加した。

赤坂保育所

(1)クッキング

親子で一緒にクッキング体験を行った。調理した物を試食し、お茶を飲みながら、様々な意見交換を行うことができた。

(2)保育体験

同年齢の在所児と一緒に、戸外あそび、水あそび、ふれあいあそび、リトミックなどをして保育体験をした。
同じ年齢の子と触れ合うことができ、保護者の方も喜ばれていた。

(3)育児相談

子育てサークルの時間内に子育ての相談を受けた場合、丁寧に対応した。

(4)保育所行事参加

運動会・人形劇などの行事に参加してもらった。

7 地域団体・施設・地域住民との交流事業

別紙 4-1 大門・別紙 4-2 今津・別紙 4-3 赤坂

8 外部・内部職員研修への参加状況（除く成長分野人材育成研修）

別紙 5 大門・今津・赤坂

9 保育研修生・ボランティアの受入状況

別紙 6-1 大門・別紙 6-2 今津・別紙 6-3 赤坂

10 実施した施設設備の整備（修理・修繕を含む）

(1) 施設の改築・修理・固定資産の購入（100万円以上）

	購入年月日	工事名	金額
大門	なし		
今津	なし		
赤坂	H29.3.1	園舎	¥268,151,586
	H29.3.1	浄化槽設備	¥3,179,952
	H29.3.1	フェンス工事	¥3,952,368
	H29.3.1	プール工事	¥2,268,000
	H29.3.25	こびとハウス オリジナルセット	¥1,101,945
	H29.3.25	パソコン一式	¥1,019,088

(2) 有形固定資産物品の購入（10万円以上）

	購入年月日	工事名	金額
大門	H29.3.31	冷凍冷蔵庫	¥421,200
今津	H28.8.15	ロングライドバスG(避難車)	¥152,000
	H29.3.28	デスクトップ、モニター	¥149,904
赤坂	H29.2.6	避難車兼用ハイタイプおさんぽ車	¥151,144
	H29.3.25	電話機一式	¥668,412
	H29.3.27	ヤマハ ギガアクセスNPNルーター	¥141,156
	H29.3.31	シャープ カラー複合機	¥595,296
	H29.3.31	正門RC塀工事	¥624,240

(3) 無形固定資産物品の購入（10万円以上）

	購入年月日	工事名	金額
大門	H28.11.14	桜システム	¥1,080,000
今津	H28.11.16	桜システム	¥1,080,000
赤坂	H28.7.5	会計ソフトライセンス	¥183,600
	H29.3.27	桜システム	¥1,080,000

(4) 建物等の修理（概ね10万円以上）

	購入年月日	物品名	金額
大門	H29.3.29	2歳児保育室床修繕工事	¥268,000
	H29.3.29	看板改修工事一式	¥590,000
今津	H28.7.5	0歳児棟	¥297,935
	H29.3.30	看板改修工事一式	¥180,000
赤坂	なし		

11 苦情処理受付状況

	受付日	苦情内容
大門	10月18日	早朝保育時、保護者同士が立ち話していた。その為、保護者二名の車が長時間停車しており、送迎時に混雑した。その状態が数日続いていたため苦情申出人が「忙しい時間に停車できなくて困っている」と言いに来た。その日にイマコソ会議を開催し、解決策を検討した。①玄関入口にて保護者にお問い合わせのお知らせをする(速やかに車を動かしてほしいこと)②11月園便りで①の内容を知らせ、保護者に駐車協力を依頼。③職員の門立ち2週間行い、駐車状況を見て、門の開閉を行うようにした。申出人と解決策と2週間後に話をした。全体の様子は改善できたことを伝え、了承してもらえた。
今津	5月25日	検尿提出日に、朝家で採取した尿を鞆の前ポケットに入れていたのに、家に帰って鞆を見たら採取した尿がそのまま入っていた。朝、検尿パックをあてるのを嫌がったのを採ったのに、確認して欲しかった。
赤坂	9月15日	祖父母交流会で、演技中に本児が泣き出した。祖父母はなぜ泣いているのか分からなかったが、録画したビデオを見ていたところ、他児から頭を叩かれ泣いているところが写っていた。先生からも何も報告がなかった。わが子も他の子にそのような行動をした時には教えてほしいと言われる。
	10月28日	遠足時にお買い物ごっこをしてお菓子を持参する方法について、欠席の子に対する配慮ができないので止めてほしい。遠足に行けないことにプラスしてお買い物ごっこをしたことをどう話をすればいいかわからない。
	2月21日	特定のクラスだけがが続いている。その時の様子が誰も見ていなかったことがしばしばである。先生がしっかりと子どもを見ていないと思う。登降所の時も誰も先生が出てこないことが多く、先生が目話をしていることが多いのではないか。

12 理事会

年7回開催した。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
月日	H28・4・1	H28・5・27	H28・6・16	H28・6・27	H28・11・4	H29・1・25	H29・3・15
会場	赤坂保育所	赤坂保育所	大門保育所	赤坂保育所	今津保育所	大門保育所	今津保育所
人数	理事 6人 監事 1人	理事 6人 監事 1人	理事 5人 監事 1人	理事 4人 監事 1人	理事 5人 監事 2人	理事 6人 監事 2人	理事 6人 監事 1人

13 参与会

2回開催した。

評議員会に代わる組織として、地域の方々や前評議員の意見を聞く場を作った。各施設の公民館長・児童委員などを中心に構成し、出席をいただいた。

	1回	2回
月日	H28・4・1	H29・1・25
会場	赤坂保育所	大門保育所
人数	3人	3人

14 その他

(1) 会計全般

今津保育所増築により、特別会計 当初予算(案)を5月26日、特別会計 第1次補正予算(案)を8月28日、特別会計 第2次補正予算(案)を9月30日、第一次補正予算(案)を12月26日、第2次補正予算(案)及び特別会計 第3次補正予算(案)を3月3日、H28年度当初予算(案)を3月3日に作成した。

大門保育所では人件費積立金は計上しなかった、保育所施設設備整備積立金に500万円を計上できた。(当期活動収支差額は1780万1千円の黒字)

今津保育所では人件費積立金と保育所施設設備整備積立金500万円計上した。(当期活動収支差額は1729万9千円の黒字)

赤坂保育所では人件費積立金と保育所施設設備整備積立金は計上できなかった。(当期活動収支差額は14万4千円の黒字)

(2) 職員給与等の変更

人事院勧告に伴い、公定価格の変更が3月に行われた。法人の人事勧告の改訂を3月31日に4月に遡り、0.78%強行った。

これ以外には、有給休暇の買取制度を開始し、平成28年度3月31日に失効する平成27年度分有給休暇の繰り越し分に対する補てんを行った。

また、管理職に多する加給率を所長代理に対して15%から18%に、所長に対しては25%から28%に増額した。職員処遇費の支給に対応する措置である。

(3) 法人内研修 (off JT)

中期事業計画の5年度目として、厚生労働省の成長分野人材育成支援奨励金制度を利用し、採用5年未満の正規職員を対象に、保育スペシャリスト養成講座(全7回)を行った。

すぐに結果が出るものではないが、受講者一人ひとりが、相手の立場に立った考え方、伝え方を学び、自分の受け止め方や言葉かけを工夫するなどの気づき、振り返りを行うことが出てきた。

中期事業計画6年目(今年度)の有期雇用者キャリアアップ研修計画へ結びつけることができた。

(4) 採用活動

昨年度と同様に採用者向けパンフレットを作成し、広島県保育連盟連合会主催「保育士就職ナビひろしま」、福山市法人立保育所協議会主催「合同就職説明会」へ参加した。「保育士就職ナビひろしま」では10人、「福山市合同就職説明会」では27人の訪問があった。

採用試験については、H28年6月からH29年3月までの第4土曜日を採用試験日として募集を行ったところ、正職員保育士 3~4名の募集に対し、保育士4名、調理員1名のエントリーがあった。そのうち保育正職員4名、調理員1名、を採用する結果となった。また、常勤職員から正規職員へ5名採用となった。

(5) 第三者評価(自己評価)

28年度は各保育所で自己評価を行った。第三者評価と同じ用紙(管理編・保育編)で行い、保育所の課題などを見つめ直す機会となった。29年度は10月大門・11月今津・12月赤坂が第三者評価を受審を行う予定である。

(6) 内部監査

各施設の交互で保育内容・給食内容・事務の分野別に相互の担当職員によって内部監査を実施した。

5月9日・5月16日に行った。給食の土曜日早朝の業者の受取りの確認をした。また、児童票などの書類の見落としがないか確認をした。